



# わたしらしく、あなたらしく

講師  
谷口真由美さん

2019年 赤とんぼ平和講演会 (7/20)

## 選挙について>

参議院選挙投票日前日に谷口真由美さんが来てくださいました。

今や投票率は50%台。最近はいわゆる限界集落の問題から投票所が減ったり、投票終了時間が早まったり。それだけ権利を行使する機会が減るということ。民主主義は皆が投票しないと成り立たないというお話に投票することの大切さを再認識。



## 平和の話で言うと>

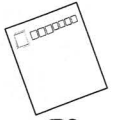
地球規模で考えれば、人類が減ぶくらいの環境破壊が進み、日本でも異常気象が日常になってきたというのにF35の購入どころではないはず。ホルムズ海峡のことにしても、有志連合への参加を呼びかけているのは米国であり国連ではないことから、どういう法的根拠で行くのかを谷口さんは疑問視。集団的自衛権によって参加するとしても、ホルムズ海峡の件で日本が減ぶのかというと、そうでもないとして存立危機にはあたらないと指摘。トランプ大統領が「アメリカファースト」を唱えるならば、日本政府は「それは違う」と言うべきでは、と主張することの大切さを語られました。

## 憲法について>

日本国憲法を誰が守らなければならないかという、憲法擁護義務があるのは天皇、摂政、国務大臣、国会議員、裁判官、公務員（憲法99条）。そして憲法には政治の仕組みと権力の分立、そして人権規定について書いてある。

私たちの「人権」とは本来「権力に抵抗する概念」のこと。例えば民主主義が始まった国アメリカでは、合衆国憲法の修正条項にわりと早くから「銃を持つ権利」が加えられているが、それは政府に抵抗する権利として認められた。1786年のアメリカ独立戦争の頃、王さまは“神の使い”“神の子”“神そのもの”で神の名の下に皆平等という考えがあり、日本では（天皇の）“赤子（せきし）”などとも言われた。そういう存在である王に刃向かうことは認められなかった。けれど、社会契約論では国家や行政も皆と互いを認め合って契約によって結びついているとし、それが合衆国憲法や今の日本国憲法の基本的な考え方となった。その中では権力に抵抗することも認められている。この「基本的人権」は「人類の多年にわたる自由獲得の成果であって、これらの権利は過去幾多の試練にたえ、現在及び将来の国民に対し、侵すことのできない永久の権利として信託されたもの」（憲法97条）。「権利の裏側には義務がある」という人がいるが、そんなことはない。社会は黒か白かではなくグレーで動いていて良いのではないか。それを認め合うことが大切。たとえ意見が違う人であっても、例えば首相が選挙演説している際に政権批判をした人が警察から取り囲まれた時、警察に「NO!」と言えるだろうか？それが人権を守るということではないか。

日本国憲法にある「人権」とは何か。そしてそれを守るための「不断的努力」の大切さを痛感し、“おばちゃんパワー”をいただきました。谷口さんありがとうございました。（要約：日高礼子）



# お便り紹介

今回の参議院の選挙で思う事。  
安倍さんは憲法改正を訴え、「憲法を議論するか、しないか」と言っています。私は言いたい！  
誰が読んでも解りやすい憲法9条が示す「日本国」にもどせ！と。

今の憲法はアメリカから押しつけられた憲法だの、いろいろな言う人がいるが、いろいろな意見がある事は良い事だと思ふ。しかし、今の憲法が大戦の大きな反省から生まれた憲法である事はまちがいない。広島・長崎・東京でも一夜にして大部分が焼野原になり10万人もの一般市民が殺された。これは災害ではない！誰かがB29に爆弾をめいっばい積ませ、誰かが東京の目標地を示し、誰かが東京のこの下町の上空にきて爆弾を落とすボタンを押し、誰かがその様子をその爆撃機の中から写真を撮り、誰かにその成果を報告、全てが人間のした事です。それは同時に日本人もして来た事なんです。朝鮮でも中国でも、その他、いろいろな国でいっばい！です。それが戦争なんです。

今、日本はあの戦争から70年以上も戦争にまきこまれます。そして平和国家を築いて来たと言う、本当かな？実はいつ戦争が起きてても良い様に大きな準備をこつこつして来たのです。平和憲法を再確認して、日本は国際社会の中でどうあるべきか！自衛隊は人殺しの道具は全部捨てよう。戦車はブルトナーに、銃はツルハシとス

コップに、空母は病院船に改造、天井板はガラス張にして船内で農園を作り、アフリカに行っても南極に行っても新鮮野菜を作り、ヘリコプターが災害地から怪我人や病人を運ぶ。

北朝鮮でも中国でも、ロシアでも災害が発生したら、どんな国、地域でもすぐに支援に向う。どこへ行っても現地に迷惑はかけない。衣・食・住の全てを自分達で賄う。今、自衛隊員が何万人いるか知らないが全員今のままで失業しない。ただ人殺しの訓練から人助けの訓練に変わるだけだ。

丸腰の日本へ銃を向ける国があるだろうが、そんな事したら世界から非難される事になる。

1機が何億もするステルス戦闘機もいらぬ。買えば後のメンテナンスでまたお金が掛る。しかもこの買物はトランプさんへのソントクでの買物でしょう。こまったものです。

モリ・カケ問題も安倍さんへのソントクから始まり、経済統計も安倍さんにソントクしない物は受け取らない。何かおかしくないですか？私から言わせれば、全てがおかしい！そして国民がその事に気づいているのにまた選挙になると同じ人に票を入れる。野党がしっかりしてないのが一番こまる。

もう一つ言いたい。  
日本で人殺しの道具（武器）を作っている会社があります。武器の売買は昔から「死の商人」と言われます。是非、平和の為の建設機械に変えて頂きたいものです。

東京の下町の77才のじーちゃんの大きな希望です。 東京都 K・Yさん

参院選も始まりました。この結果で、日本が戦争する国になるのかが決まります。  
自然災害の時、自衛隊の方々に助けてもらい各地で助かったの声が大きいです。

自衛隊を災害救助隊として、人殺しの道具は全部無くして人を助ける為の訓練を続けてほしいです。地球上の自然災害にどこでも助けに行けます。今年の赤とんぼ、いっばい飛ばしたいです。

トランプ氏が、日米安保は不公平と言われました。「やめた!!」とどちらかと言えば、1年後になくなるつもりめのはずです。

ぜび、トランプさんに「やーめた!」と日本から(言ってほしい)。(アメリカの基地がなくなれば、そこにすぎ込んでいるものすごい金額が、日本の福祉にまわせるとし消費税もなくなることが出来るのに……)と思えます。

鹿児島県 Y・Tさん

## 読んでみませんか?

東日本大震災・原発事故の被災者を描き続けた風刺画  
2011年5月1日〜2019年3月31日

### 『震災絵日記』

発行・朝倉 悠三  
発行・福島民報社 2019年  
定価・1400円+税



がむしゃらに独走する政權に危険な匂いが… 2014.7.13  
The smell of danger from this reckless runaway administration is...  
(voice: "Oh? I've started to look like someone...")



揺れ続く熊本・大分地震。福島県民は心配している 2016.4.24  
Kumamoto and Oita earthquakes still shaking. The people of Fukushima worry.  
(Signs on table: "Chief Cabinet Secretary" / Suga's voice: "There is no need to stop the nuclear power plant!")

福島県南相馬在住の元高校美術教師 朝倉悠三による震災後8年間の記録です。大胆かつ繊細な筆のタッチ。そしてユーモアとパースを織りませた絵と文。筆者を通して被災地からの生の声が伝わります。  
(山田 千恵)

# 常識の殻を破って

参院選で辛うじて3分の2（改選議席数の）を割ったとはいえ、やはり圧倒的に改憲勢力が強かった。その中でゲリラ的ともいえる動き方で「れいわ新選組」から二人が入った。

この政党の動き方に注目していきたい。一番弱い者の立場から世の中を見ている人たちが数と力で事が決まる国会の中で、どのように常識の殻を破り人の心を動かしていくのかとても興味がある。

もしかしたらツツツと繋がりを築いていき、人間模様を変えていけるのでは。

言語の使用が不自由でも存在そのもので人を動かし、いつの間にか周りに人が集まることも現にある。

ただ、それには時間が掛かってしまう。だから飽きず注目し続けるエネルギーが必要だと思つ。

新人二人の参議院議員の周りで、彼らが目的を達成するためにどれだけの

人が関わりどれだけの人々が動くか。山本太郎の思惑もそこにあるのだと思うけれど、国会の中のバリアを片っ端から取り除く。もちろん人の意識の中のバリアも。

そんなことがあっても闘うという手段を採ばない二人が入ったことで、一縷の望みが出てきたのではないだろうか。

国内の問題にしる、外国との問題にしる、ぶつかり合うのではなくて説得して折り合いをつけていく。

そんなふうにならなくてくれればと思う。

そんなに簡単に行くわけではない。と笑われてしまうかもしれないけれど、人間が生きていく原点に近いところを生きておられる二人の存在は、とても貴重だと思つ。

時間が掛かるとかカネがかかるとか、ましてや「戦力」にならないなどといった現在の国会流の考え方に、かき消されてしまわないよう、世論を作り上げていかなければ、と切におもつ。  
(寄村仁子)

## 安保法制 違憲訴訟

# 第11回 期日

10月24日  
(木)

14:30~

大分地裁  
第3号法廷

## 名もなきひとむれ

12月8日(日) 13:30~  
トキ八前 チラシ配り

## 憲法・教育基本法 市民連続講座2019

### 第2回

# 「今、再び平和教育の 意義を考えよう！」

講師>山岸 治男さん  
(大分大学名誉教授)

とき>9月7日(土) 13:30~  
ところ>コンパルホール 304号室  
資料代>500円

### 第3回

# 「1円も負けない、 1円でも多くとる」

~労働者の権利を守るために~

講師>玉木 正明さん  
(弁護士・大分共同法律事務所)

とき>12月7日(土) 13:30~  
ところ>コンパルホール 304号室  
資料代>500円

主催>市民連絡会おおいた  
連絡先>090-4583-8797 (池田)

## 「東アジアの平和をはぐくむ 大分市民集会」(仮称)

ゲスト>金 英丸 (キム・ヨンファン) さん  
(韓国NGO「民族問題研究所」室長)

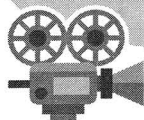
1 中津会場 11月8日(金) 18:00~  
中津下毛教育会館

2 大分会場 11月9日(土)  
14:00~16:00  
コンパルホール 304号室

主催>ピースサイクルおおいた 他  
連絡先>090-4583-8797 (池田)

※開催に向けて1口1,000円の協力券(入場券)にて資金協力募集を行いますのでヨロシク!

## 映画 「米軍が最も恐れた男 カメジロー 不屈の生涯」



シネマ5にて  
9月21日(土)~公開

### ◆編集後記◆

今年もなんとか意見広告ができました。

## 声に出して読んでみましょう う憲法九条

「戦争の放棄、戦力の不保持、交戦権否認」  
①日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。  
②前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

赤とんぼの会事務局 千八七〇〇八五五 大分市豊鏡四組 みんなの家  
TEL: FAX 097(5444)8892 (郵便振込) 0154001012160  
(ホームページ) <http://aka-tombo.com/> (メール) [aka-tombo@hotmail.co.jp](mailto:aka-tombo@hotmail.co.jp)